

信友

信友会事務局

東京都新宿区高田馬場
3丁目45-4
電話 03-5330-1192 (代)

新歴史教科書に思う

会長 中里義弘



信友会の皆様、ご家族共々お元気で活躍のこととお慶び申し上げます。

「まともな国家」に立ち返ろうとする機運が生まれてきたと感じてきた。その一つの現れが「新しい教科書を作る会」の活動であり、私は大きな期待を持って、その成り行きを見守ってきた。

「新しい教科書を作る会」が編集した扶桑社の教科書は、中韓両国の激しい批判を一身に浴びながら何となく検定を通過した。教科書は市販され、七十万部を越すペースで流通している。国民に広く問題提起をしたという意味では大

きな成果を挙げた。しかし、肝心の採択結果は〇・二パーセント、特に公立では全滅に近く、惨敗を喫してしまった。

採択においては、全国の教育委員に対して左翼勢力から個人攻撃を含む脅迫まがいの執拗な妨害工作が行われたという。特に栃木県の下都賀地区で見られたように、一旦扶桑社の採択を決めていた地区協議会の決定が、後に教育委員会によって悉く覆られるという異常事態も生じた。扶桑社の教科書に対しては韓国側からの不採択要求が、直接、間接に教育委員に与えた影響も相当大きかったのだろう。こうした内外の圧力に屈してしまっ

た今回の採択結果は、教育委員の自主的、公正な判断を示したというには程遠く、極めて残念な結果に終わった。

採択に至るまでに、政府や政治家の対応にも不的確と思えることがあった。検定合格後になって扶桑社教科書をターゲットにして、中韓両国から修正要求が出されたが、教科書問題は所詮内政問題で、対しては、政府は最初「明確なノー」の意思表示をすべきだった組織に対する軍事行動であり、日本の政府レベルとしては米国防援、海外派遣問題、在日米軍基地等の警備を柱とした自衛隊法改正の問題を含めて対テロ対策が見直される等、防衛に関する諸問題の検討が極めて積極的に実施された。

また、PKO派遣も十年になろうとし、ゴラン高原への派遣の継続に合わせ、東チモールへの派遣も施設群規模で具体的な検討が実施される等、多種多様な任務にも対応しなければならなくなりまし

た。まさに、二十一世紀の自衛隊は創隊以来五十数年を経て、「国土防衛を基本としつつ、多様な役割を遂行し、行動時に評価される時代」として自らの組織を柔軟かつ合理的に改革し取り組んで行か

な成果を挙げた。しかし、肝心の採択結果は〇・二パーセント、特に公立では全滅に近く、惨敗を喫してしまった。

採択においては、全国の教育委員に対して左翼勢力から個人攻撃を含む脅迫まがいの執拗な妨害工作が行われたという。特に栃木県の下都賀地区で見られたように、一旦扶桑社の採択を決めていた地区協議会の決定が、後に教育委員会によって悉く覆られるという異常事態も生じた。扶桑社の教科書に対しては韓国側からの不採択要求が、直接、間接に教育委員に与えた影響も相当大きかったのだろう。こうした内外の圧力に屈してしまっ

た今回の採択結果は、教育委員の自主的、公正な判断を示したというには程遠く、極めて残念な結果に終わった。

採択に至るまでに、政府や政治家の対応にも不的確と思えることがあった。検定合格後になって扶桑社教科書をターゲットにして、中韓両国から修正要求が出されたが、教科書問題は所詮内政問題で、対しては、政府は最初「明確なノー」の意思表示をすべきだった組織に対する軍事行動であり、日本の政府レベルとしては米国防援、海外派遣問題、在日米軍基地等の警備を柱とした自衛隊法改正の問題を含めて対テロ対策が見直される等、防衛に関する諸問題の検討が極めて積極的に実施された。

また、PKO派遣も十年になろうとし、ゴラン高原への派遣の継続に合わせ、東チモールへの派遣も施設群規模で具体的な検討が実施される等、多種多様な任務にも対応しなければならなくなりまし

た。まさに、二十一世紀の自衛隊は創隊以来五十数年を経て、「国土防衛を基本としつつ、多様な役割を遂行し、行動時に評価される時代」として自らの組織を柔軟かつ合理的に改革し取り組んで行か

な成果を挙げた。しかし、肝心の採択結果は〇・二パーセント、特に公立では全滅に近く、惨敗を喫してしまった。

二十一世紀の陸自通信の役割

陸幕通信電子課長 大久保利通



信友会の皆様には、平成十四年の輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。まずもって、日頃官・民の橋渡しとして、また、経験豊かな先輩として、私どもにご指導・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

早いもので、陸幕通信電子課も住み慣れた六本木から市ヶ谷新庁舎へ移転し、二年を過ぎようとしておりますが、今では課員一同、ハイテク高層庁舎において、庁OA・指揮システム等を駆使して、二十一世紀の新生陸自通信電子の発展に全力を注いでおります。

さて、陸上自衛隊は「中期防衛力整備計画」の初年度として、新たな体制を目指して激しい財政事情の下、引き続き改革に取り組んでいるところではありますが、十三年度の最大の事象は米国における同時多発テロ事件及びそれに伴う米国を中心とするアフガンのテロ

組織に対する軍事行動であります。日本の政府レベルとしては米国防援、海外派遣問題、在日米軍基地等の警備を柱とした自衛隊法改正の問題を含めて対テロ対策が見直される等、防衛に関する諸問題の検討が極めて積極的に実施された。

また、PKO派遣も十年になろうとし、ゴラン高原への派遣の継続に合わせ、東チモールへの派遣も施設群規模で具体的な検討が実施される等、多種多様な任務にも対応しなければならなくなりまし

た。まさに、二十一世紀の自衛隊は創隊以来五十数年を経て、「国土防衛を基本としつつ、多様な役割を遂行し、行動時に評価される時代」として自らの組織を柔軟かつ合理的に改革し取り組んで行か

な成果を挙げた。しかし、肝心の採択結果は〇・二パーセント、特に公立では全滅に近く、惨敗を喫してしまった。

信友会の皆様には、平成十四年の輝かしい新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。まずもって、日頃官・民の橋渡しとして、また、経験豊かな先輩として、私どもにご指導・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

早いもので、陸幕通信電子課も住み慣れた六本木から市ヶ谷新庁舎へ移転し、二年を過ぎようとしておりますが、今では課員一同、ハイテク高層庁舎において、庁OA・指揮システム等を駆使して、二十一世紀の新生陸自通信電子の発展に全力を注いでおります。

さて、陸上自衛隊は「中期防衛力整備計画」の初年度として、新たな体制を目指して激しい財政事情の下、引き続き改革に取り組んでいるところではありますが、十三年度の最大の事象は米国における同時多発テロ事件及びそれに伴う米国を中心とするアフガンのテロ

組織に対する軍事行動であります。日本の政府レベルとしては米国防援、海外派遣問題、在日米軍基地等の警備を柱とした自衛隊法改正の問題を含めて対テロ対策が見直される等、防衛に関する諸問題の検討が極めて積極的に実施された。

また、PKO派遣も十年になろうとし、ゴラン高原への派遣の継続に合わせ、東チモールへの派遣も施設群規模で具体的な検討が実施される等、多種多様な任務にも対応しなければならなくなりまし

た。まさに、二十一世紀の自衛隊は創隊以来五十数年を経て、「国土防衛を基本としつつ、多様な役割を遂行し、行動時に評価される時代」として自らの組織を柔軟かつ合理的に改革し取り組んで行か

な成果を挙げた。しかし、肝心の採択結果は〇・二パーセント、特に公立では全滅に近く、惨敗を喫してしまった。

な成果を挙げた。しかし、肝心の採択結果は〇・二パーセント、特に公立では全滅に近く、惨敗を喫してしまった。

叙勲

おめでとうございます

春

勲四等旭日小綬章 大橋 佐多 (元通信2教育部長)

勲四等旭日小綬章 堀井 安夫 (元陸幕通信2別室長)

秋

勲四等旭日小綬章 岡村 勇助 (元大宮駐屯地業務隊長)



37周年懇親会

38周年総会・懇親会

信友会38周年記念の総会及び懇親会を左記のように実施します。また懇親会は恒例により現役と共催で行います。

記

一、日時 平成十四年三月十六日(土) 十一時半より

(一) 総会 一一・三〇〇―一二・二〇〇

(二) 懇親会 一二・二〇〇―一二・四〇〇

場所 第一ホテル東京

電話 〇三・三五〇一・四四一

住所 東京都港区新橋一・二六

(JR新橋駅日比谷口徒歩二分)

三、会費 九〇〇円(会場費いただきます)

【お願い】

出欠について同封のはがきで御返信下さい。

的な体制を構築したいと思っております。結びとなりますが、今後の陸上自衛隊の通信電子分野は各種システムの相互接続・総合化事業の推進及び情報通信技術の加速度的進歩により、我々の想像以上のスピードで進展するものと思われま

な役割に対応できる。二十一世紀の陸上自衛隊通信電子として積極的

な成果を挙げた。しかし、肝心の採択結果は〇・二パーセント、特に公立では全滅に近く、惨敗を喫してしまった。

海外見聞記

青山 滋



平成四年三月に制服を脱いで間もなく十年になる。この間(財)ディフェンス・リサーチ・センターで安全保障の研究に関わってきた。先日バスポートを取り出してその間の記録をチェックしてみたら計二十回出入国し、米国(十三回)をはじめ十三カ国を訪れていた。今日はこの間に見聞したなかから、紙面の許す範囲で「二紹介してみたいと思います」。

その一 テロに備えるイスラエル
平成十二年六月、「中東セキュリティ&防衛エキジビジョン」に参加するため、危険度の高いイスラエルを訪れた。予め外務省から、「大勢が集まるところに立ち寄らないこと」、「定期路線バスに乗りたくないこと」など注意が出されていた。テルアビブ空港には午前一時頃到着し、出ても早朝で約一週間滞在したが、多くの国際便が欧州中心(経由)であるため、ダイヤは朝夕の欧州発着に合わせ、早期・深夜の離発着が常態であるとのこと。空港では、帰路出国時の厳しいチェックには多少驚いた。空港ロビー到着直後に官吏によって十五〜三十分国内の行動や持ち物など細かく面接方式でチェックされる。通常は入国の方が厳しいが、ここでは航空機のテロやハイジャックに対する対策を極めて重視しているようだ。街や郊外の道路を走っていると、小銃を持った個人行動の兵士を数多く見かける。ゴラン高原近くでは路外に地雷原があるため、不用

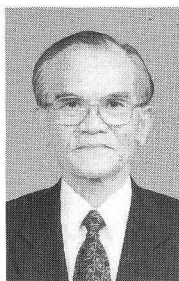
意に道路からはみ出せない。

エジプトでは、軍・警察・民防機関が共通の目的に向かって緊密に連携しているのを感じた。また広範多様な展示品の中には、ゴム製弾や閃光弾など「非殺傷弾薬」が目をつけた。これは勿論テロ対処や暴動鎮圧等で一般市民に危害を与えないで目的を達成するためのものである。

ユダヤ、イスラム、キリスト三宗教の聖地が、歩いて回れるほどの狭い地域に背中合わせに位置するエルサレムでも、最近パレスチナ対イスラエルの武力衝突が頻発している。宗教や民族の衝突は、物理的な利害や損得を超越して、安易な妥協は無いようだ。しかし建造物が異常に密集した同地を

言葉は力

加藤 友明



定年直後から十五年間、企業経営者を主対象とする生命保険のセールスに従事しました。一年目は転職も考えたこともありません。『こだわりの行動力』とは一つの容器に入っている。『失敗というものは、成功するまで続けないだけである』という言葉を励み、多くの経営者の信頼を得て、満足できる成績を挙げることが出来ました。

見る限り、紛争が更に拡大すれば三つの聖地が共に破壊され、またエルサレムのもう一つの顔である国際的な大観光地(資源)をも失いかねない。彼らはそれを知っている筈であり、そこに抑制が働く余地が多少あるに思える。

その二 中国の空母「ミンスク」
本年七月、東南アジア四カ国訪問の帰路香港に立ち寄った。香港九龍駅から列車で北へ約四十分の羅湖駅で下車、ビザ取得後広東省に入り、タクシーを拾って約三十分で海岸の展示場「ミンスク・ワールド」に到着した。

敷地内には戦車、装甲車、ヘリコプターなどが展示され、ミンスク艦上には大勢の中国人の見物客が溢れていた。艦内に入ると一転して広報映画室、写真等展示館、バー、レストラン、ゲームコーナーなど多彩な施設が設けられ、空母の艦内と言ふより博物館兼レジャーランドといった感じである。

冷戦中ソ連太平洋艦隊所属の航空母艦が、冷戦後韓国を経て中国に渡ったもので、乗艦当初に見せられる広報映画では、中国に空母が必要であることを国民に強くアピールしているように感じた。

その他中国で奇異に感じたのは、英国から中国に返還された香港から広東省に入るのに、ビザの取得を含んで行列で一時間余もかかったこと、及び当地で三回乗ったタクシーの運転手に、いずれも英語が全く通じなかったことである。防波堤に囲まれて波静か(平和)な港に戻ったような気分になる。国内に居て平和ボケにならないようにときどき自戒している。

「情報はかくれている、かくれ場所を知らなければならぬ」という言葉は、未来を予測し、変化に対応する経営革新の実行を助言するの役に立ちました。

六十才で退職し、毎朝の散歩・ラジオ体操、午後は万歩計をつけて広い範囲を歩きました。

一年ほどして、横浜須賀町の総合計画審議会の委員を委嘱され、二〇二五年を目標とする基本構想・基本計画の審議、続いて市民協働のまちづくりの指針の審議・作成し、ばくして行政評価制度の審議に参加しました。

年をとると月日のたつのが早く、環境等に問題意識を持って歩いていたので、現場密着の意見を出すことが出来ました。

多様な価値観を持ち、多岐にわたる議論の審議会で、かなりの提言が採用されたのは、安岡正篤師の教えである次の言葉のおかげと、思っています。

思考の三原則
一 目先にとらわれず、長い目で見る。
二 物事の一面だけを見ないで、多面的多角的に見る。
三 枝葉末節にこだわらず、根本的に考察する。

批判や反対には、必ず代案(文意)を用意しました。

平成十二年一月二十八日、妻が転倒によって、頸髄損傷、四肢麻痺の重度障害者となり、入院、手術、リハビリ約十カ月、その後自宅介護です。

介護保険制度の看護婦・ヘルパー・入浴サビスのほか医師の定期来診、理学療法士と鍼灸師によるリハビリなどを受けています。

老・病・死とどう向き合うか? 会員の中にも、本人または家族が病氣や障害で、希望の持たない方もおいてかと思えます。

「どうにもならないことを忘れるのは幸福だ」ドイツの諺です。幸福だとは言えませんが、事実があるがままに受容する覚悟と前向きに立ち向かう決意が必要であること身をもって悟りました。

まだ頑張っています。

小山 治男



日本の将来を危惧する一人です。「隅を照らす、国の宝なり」。「情報を収蔵するだけで、放出しないのは罪悪である」。「生れた時より、ほんのわずかで良い世の中にして申し送る」活動は制限されますが、可能な限りの貢献をしようと思えます。

「賢者は聞き、愚者は語る」愚者である私が、経験を述べたのは、優秀な会員の皆さんに「こだわり」を捨てて踏み出してほしいとの願いからです。

年とともに健康に時間と金がかかる。運動・食事・睡眠のほかに呼吸法が大切です。会員皆さんのご健康をお祈り致します。

二、社内外的コミュニケーション
基礎的能力として共通語としての英語、パソコン使用の能力は不可欠です。その程度は日常業務で電話応答、簡単な文章起草程度です。担当業務に就いての用語はすぐ慣れるようです。

パソコンの使用については、インターネット接続ができること、特にEメールについては最も安く早い対外国通信として多く使用して、その重要性です。中途採用の場合はこれら基礎的な能力は持っていることが前提です。流暢な会話洗練された文章でなくとも、正しい情報交流することができればいい訳で、toeicスコア五〇〇点あれば十分とおもいます。なお大半の学生は軽視している第二外語が今後は大事になるようです。パソコンはワードのほかエクセル、パワーポイントができることです。

三、企業文化の差異
契約に対する考え方やその違いについて問題が多いが、私の経験から日本の考え方を説明しても無駄でした。日本で百年以上続いた会社でも変わってないのが実情です。契約第一で日本的なアフターサービス等絶対ありません。その国の商習慣を無視してビジネスをやる難しさです。ドイツは世界で最も基準労働時間が短い国と言われている。確かに休暇は多いが勤務時間は効率的にやっています。社内パーティがかなりあります。中途採用、依願退職が多く、部門毎の目標達成祝いの都度飲みながら仕事をやる場合が多い。本国との時差の関係で我が社は夕方から忙しくなります。なお、社員旅行、忘年会等は自己負担なものです。いろいろ思いつくままに言いましたが、何か参考になれば幸いです。最後にこの年でも雇われていることは多少とも会社員に貢献しているのかな?と思っています。今担当しているプロジェクトを進めつつ、先輩諸兄を見習って落着いた日々を送るよう心がけて、ソフトランディングしたいと願っております。

高度情報化に向けて

通信団長 行徳浩志



信友会の皆様、御家族共々ご健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、政府はe-japan構想を昨年度策定し、2005年までにその実現を目指して、各省庁にその対応を求めています。防衛庁はこれに基づき昨年末にDII構想を発表しました。その内容を見方を変えてご紹介いたします。
○e-japan構想への最大限の貢献、

- 防衛庁のネットワーク及び態勢の再構築、
- 防衛庁が主として貢献すべき事項は、IT戦略本部(第三回)議事録により、
- 防災分野の情報化、
- 情報インフラのサイバーテロ対策、
- 国防・治安に関わる情報セキュリティ技術の研究開発の推進、
- 情報セキュリティに係る人材育成、
- 情報セキュリティに係る国際連携の強化、

となっており、防衛庁としてその体制を整えるためにも、二項

二十一世紀、通信科隊員の挑戦

通信学校長 鈴木 健



信友会の皆様には、平素から我々現職隊員の先輩として、温かな御理解と御支援、そして御懇篤な御指導を賜りますとともに、自衛隊と民間企業や国民との「かけ橋」として、自衛隊の理解促進や、防衛意識の高揚に大きな役割を果たして頂き、心から感謝申し上げます。
さて、人類は新しい世紀を迎えました。我が国における同時連続テロ事件の発生とその後の事態は、これからの百年が平和の波に乗っ

た素晴らしい時代であってほしいと切望していた我々の願いを、完璧に打ち砕きました。
近年の自衛隊は、日本の防衛に任ずるのみならず、国際的にも国内的にも多様な役割を果たしてまいりました。この事態を深刻に受け止め、与えられた環境条件の中で、誠実積極的かつ着実に、任務を遂行致す所存であります。
一方、技術の発達による軍事の情報化は世界の趨勢となり、各国は、情報化された戦争に勝利することを目指して戦力整備の努力を続けております。
今回のテロ事件においても、米国の臨時における国家方針の確立、早期の容疑者の特定、迅速な軍事行動の開始等の事象は、ハイテク

目的防衛のネットワーク及び態勢の再構築が喫緊の課題として浮かび上がってきました。そこで防衛庁は

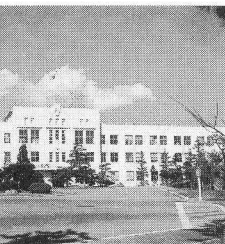
- 高度ネットワークセキュリティの実現、
- サイバーテロ防護態勢の強化、

等の実現を目指して行くことになりました。これに基づいて、陸自として取り組んでいる事項をご紹介します。

一、高度情報通信ネットワークの構築
現在は情報ネットワークの通信インフラとして、パケット網を運用いたしておりますが、今年度末にネットワークの高速化・統合化とセキュリティの強化を目標としてATM網に換装します。更にネットワークは平成十八年度を目標にIP化を推進します。すでに陸自指揮システムはIP化されておりますが、他のシステムも逐次IP化

二、高度ネットワーク・セキュリティの実現
行政の情報化を目指して陸自ネットワークの一部はインターネットと接続することになります。そのため一層のセキュリティの強化が求められております。これらについて平成十一年度から通信団で評価・検討しておりますが、来年度をもって一応の結論を出し、十四年度以降の成果を持って、ネットワークを再構築することになります。情報公開の主要な手段として、インターネットに防衛情報を公開することになりますので、一層のセ

陸上自衛隊が、情報化された戦場において勝利を獲得するために、これらの施策の実現と発展が必須であります。
通信科職種は、これらの検討、および施策を積極的に推進するとともに、環境の醸成・育成・整備の推進においても、中心的存在として参画し、努力をしているところであります。
これがため、まず通信科の隊員自身が、支援の立場から脱却して、情報戦の主役を果たす職種であるとの自覚を持つことが肝要であり、次いで、自ら主導的に施策を推進して具体的な事項を実現して行くことが必要であります。また、実現した事項を部隊に還元し周囲の意識を振起す努力と活力が重要であること認識しております。
このような観点から、通信科隊員の教育・育成を任務とする通信学校の教育・育成を切り開く通信科隊員の姿として「この時代における自衛官としての明確な価値観を持つて行動ができ、情報通信



通信学校本館

技術(ITT)を戦力として駆使でき、さらに部隊で普及できる実力を有した隊員を「ITT戦士」として描き、その育成を目指して日々挑戦しているところであります。信友会の諸先輩皆様におかれましては、今後とも我々後輩に対して御支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。
最後に申し上げますが、信友会の一層の御発展と会員皆様の益々の御健勝をお祈り申し上げます。

信友会 新入会員名簿

(平成13年2月1日版「信友」掲載以降の入会者) 13年12月1日現在

氏名	〒	現住所(電話)	勤務先(電話)	最終補職等	氏名	〒	現住所(電話)	勤務先(電話)	最終補職等
三浦 守	956-0854	新潟県新潟市浪谷町19-14、(0250-22-2008)	日本火災海上保険(株)新潟支店(025-247-6161)	新発田業務隊(H12.6.11)	丸岡 力	529-0366	滋賀県東浅井郡湖北町延勝寺973 (0749-79-03700)	第一生命保険(株)(06-6244-4708)	中野通信群(H13.2.6)
山本二郎	665-0852	兵庫県宝塚市布衣3丁目1-27(0897-85-3253)		千代田業務隊(H12.7.10)	田中 剛	664-0017	兵庫県伊丹市端ヶ丘1-33-201(0727-82-3427)	日本通運(株)大阪支店(0727-82-3427)	中野総監部(H12.11.10)
庄司 久勝	005-0841	北海道札幌市南区石山1条9丁目4-10 (048-876-2243)	(株)ジョイント・システムズサービス(011-532-3940)	北方通信群(H12.7.19)	大崎 修司	558-0032	大阪府住吉区遠里小野4-1-12(06-6691-2855)	(株)ジョイント・システムズサービス(0727-80-3223)	伊丹業務隊(H13.5.14)
新井 理雄	273-0111	千葉県鎌ヶ谷市北中沢3-3-25(047-446-2076)	(株)ジョイント・システムズサービス(03-5368-8961)	東通群(H12.10.15)	菅野 敏雄	080-0856	北海道帯広市南町南8線88-13(0155-48-6271)	日本通運(株)帯広支店	(H13.3.16)
大塩 茂勝	274-0077	千葉県船橋市薬円台5-30-1-703(047-468-3759)	(株)ジョイント・システムズサービス(03-5368-8961)	通信団(H12.6.29)	西森 幸男	331-0052	埼玉県さいたま市三橋1-629-2(048-666-7395)	昭和電線電機(株)(03-5250-0901)	通信団本部(H13.8.25)
土屋 久生	336-0922	埼玉県浦和市大牧1496-14(048-876-2243)	(株)光電製作所(03-3756-6501)	情報本部(H12.3.31)	滝 寛	179-0081	東京都練馬区北町2-19-11-106(03-3937-1906)	九建設設計(株)(03-5250-0901)	通信団本部(H13.7.8)
柿木 貞秋	352-0012	埼玉県新座市畑中2-5-6(048-477-1858)	なし	通団	高橋 光二	239-0820	神奈川県横浜須賀野市和風台26-20(0468-43-4574)	東横商事(株)(045-597-6961)	通校(H13.9.25)
吉川 佐賢	239-0815	神奈川県横浜須賀野市浦上台1-24-3(0468-43-2109)	海洋電子工業(株)(045-771-1244)	通校(H13.2.13)	堀江 馨	239-0807	神奈川県横浜須賀野市根岸町3-12-13 (0468-34-8761)	大洋無線(株)(03-3780-3284)	中野群(H13.9.2)
為実 努	651-0073	神戸市中央区脇浜海岸通4-1-2-1102 (078-241-2104)	三菱電機(株)通信機製作所(06-6491-8031)	中通群(H12.12.17)	中村 隆	370-3503	群馬県北群馬郡榛東村大字新井1345 (0279-54-7769)	群馬馬銀行	317基通(H13.8.1)
山本 公志	351-0101	埼玉県和光市白子3-18-21-305(048-467-3501)	三菱電機(株)(03-3218-2111)	補統本部(H13.4.12)	久井 勲	179-0074	東京都練馬区春日町2-23-7(03-3825-9623)	日本無線(株)(03-5584-8806)	第1教育団(H13.8.1)
					武藤 良孝	192-0911	東京都八王子市打越町1438-9(0426-35-9219)	三菱電機(株)(03-3218-3384)	情報本部(H13.3.27)

陸自通信電子

の現況

陸幕通信電子課

一、はじめに

平成十三年度は、小泉内閣閣議決定に伴う新しい枠組みでの予算要求を行う一方で、九月の米国同時多発テロの発生に伴う米国の軍事行動、国連をはじめとした世界各国の対応、我が国の新法案の成立、自衛隊法改正及び東ティモールへのPKO派遣準備等の様々な重要な問題が発生し、まさに激動の年となった。平成十四年度は、C4I2・IT関連の通信電子器材の継続的な整備が進むとともに、陸幕改編・陸幕から補給統制本部への業務移行に伴う本格的準備、十五年度完了に向けたIDNN整備の詰め、米国の同時多発テロに伴う関連事業等、多種多様な業務が目白押しですが、通信電子課一同、装備品等の継続的な価格低減に努めながら、陸自通信電子の将来像を見据えて、その発展のため、鋭意努力する所存です。

二、主要通信電子器材の整備
十三年度末から、いよいよ85式無線機の後継として新野外無線機への更新が開始されます。

また平成十四年度は、12Bへの着陸誘導装置、4Dへの衛星単一通信システム及び野戦特科情報処理システム、10Dへの師団対空情報処理システムが充足、12Bの対砲レーダ装置、5Dの師団通信システム、北部方面隊の方面隊新電子交換システムが更新される予定となっております。

三、体制変換
陸幕においては、十三年三月から「システム機能」強化の一環として、防衛部研究課内に「システ

ムGP」を試行的に編成し、業務を遂行しています。

通信電子課としても、新たな体制の下、綿密な調整等を実施しつつ業務を行っているところでありますが、今後予想される陸幕改編に向けて、予算・執行・調達等、組織・業務要領等の見直し、検討に積極的に参加して効果的・合理的に業務を遂行しようという体制を築けるよう努力しております。

四、補給統制本部との業務要領
陸幕整備部と補給統制本部との業務の実施要領については、組織の合理化・効率化の中で検討が加えられ、十三年度はMMから実員による検討が進められ、その具体化に大きく前進する年となりました。平成十四年度は、これらの検討を土台として、より具体的な実施要領を明確にし、業務移管等新たな体制に向けて、ソフトウェア・ハードウェアの整備を進めよう努めて参ります。

五、IDNN整備事業等
IDNNの整備は、今後のデータ回線の趨勢等を考慮し、自営回線の大容量・高速化及び回線の一部ATM(データ伝送)化を図っています。また、必要とする回線の自動化等については、データ交換網及びDIIの通信インフラとしても十分対応できる体制づくりと合わせて着実に推進していくものであります。

六、指揮所の近代化事業
陸幕システム及び各方面隊指揮システムは、十三年三月をもって概ね整備を終了し、陸幕から各方面隊等の各部隊に至る「買したネットワーク」が構築されました。十四年度以降は、機装及びソフトの充実を主体とした事業となりますが、この事業の重要性は増大しており、庁事業に密接に関連しております。今後は、本システムの機装・ソフトの改修等を着実に進め、ユーザにとって「より使用し易く、真に役に立つシステム」を目指して事業を進めて参りたいと考えております。

七、IT関連事業
防衛庁においては、十四年度情

報通信技術(IT)を活用した情報通信機能の統合・強化を図るため、防衛庁・自衛隊を通じて高度な統合ネットワーク環境を整備する事業として、防衛情報通信基盤(DIIR)の整備、DIIR運用開始に伴う管理組織を統合幕僚会議に新設すること、コンピュータ・システム共通運用基盤(COE)の整備をより一層推進することとしております。また、情報セキュリティの確保を図るため、サイバー攻撃に対する対処手法の研究、システム保全管理機能の充実、人的基盤の整備を行う予定であります。

いずれの事業においても管理組織を始め、機能・業務要領等如何にするかについて検討しているところであります。通信電子課としても、陸幕内・関係機関・部隊等とよく調整しつつ積極的な協力をするように、重要な役割を果たしていきたいと思います。

八、おわりに
平成十三年度の最大の事件は、米国における同時多発テロ事件及びそれに伴うアフガンに対する軍事行動、自衛隊の支援等でありましたが、自衛隊が「抑止の観点から威容を誇示する時代」から、「活動して評価される時代」に変化して行く中で、東ティモール、パキスタン等における国際貢献活動等、複雑化・広範化・多様化してきました。

通信電子課としては、これらに関連した各種運用ニーズに機を失することなく適切に対応すべく予算化・事業化を図っていくことが、誠に重要なことと考えております。さて、現在通信電子課は、市ヶ谷庁舎A棟一階の住人として「OA化された近代的なハイテク高層庁舎」での勤務となっております。是非とも一度通信電子課へ、お気軽にお立ち寄りいただければ幸いです。

信友会の皆様方のお一層のご指導・ご鞭撻を賜りますとともに、皆様方それぞれの分野における更なるご活躍とご健勝を祈念いたします。

計報 謹んで御冥福をお祈り申し上げます

(平成13年10月1日現在)

氏名	逝去年月日	〒	御遺族住所(ご遺族)(電話)
内田 直幸	H13.11	862-0921	熊本県熊本市新外1-3-61 (096-367-0348)
太田 正司	H12.6.17	243-0035	神奈川県鎌倉市西鎌倉1-18-16 (奥様) (0467-31-6180)
大西 啓	H12.5.19	270-0111	千葉県流山市江戸台東4-260 (奥様) (0471-54-6971)
緒方 正彦	H12.7	344-0113	埼玉県北葛飾郡和光市新田343-25 (健志様) (048-746-2265)
柏木 武典	H12.4		
香取 宏和	H13.2	115-0055	東京都北区赤羽西3-18-20 (03-3908-0387)
木村 勝俊	H13.11	229-0014	神奈川県横浜市長谷区若松6-19-3-102 (042-742-7291)
倉田 政昭	H13.2	251-0875	神奈川県藤沢市本藤沢7-1-12 (0466-82-6792)
高橋達志夫	H13.9	156-0045	東京都世田谷区桜上水1-1-2-207 (03-3363-6606)
瀧山 周	H13.6	164-0002	東京都中野区上高田1-46-13 (03-3385-3274)
武田 照彦	H13.6.29	245-0005	神奈川県横浜市泉区白百合3-3-5 (奥様) (045-811-0221)
角町 哲	H12.5.6	175-0092	東京都板橋区赤塚6-2-4 (03-3938-6698)
野口 宗作	H12.9.24	171-0051	東京都豊島区長崎5-24-7 (奥様) (03-3955-2442)
深谷 利光	H13.2	249-0006	神奈川県逗子市逗子4-3-32
古河 邦夫	H13.2.1	969-3462	福島県河沼郡河東町金田字村前14 (0242-75-2865)
堀池 正夫	H13.2	235-0023	神奈川県横浜市磯子区森6-33-17 (045-771-4818)
増見由三郎	H13.2	062-0052	北海道札幌市豊平区月寒東二条6-11-15
真鍋 隆	H12.10	169-0051	東京都新宿区西早稲田3-27-14 (奥様) (03-3203-8562)
山田 掄録	H10.1.4	160-0014	東京都新宿区内藤町1-7エキュート御苑コート501 (大橋田鶴子様)(長女) (03-3341-7800)

平成13年度信友会会計報告

(H13.1.1~H13.12.31)

(単位:円)

収	入	支	出
前年度繰越	4,723,680.-	慶弔費(PKO激励金含)	108,765.-
終身会費	220,000.-	通信事務費	228,370.-
通信事務費	20,000.-	印刷費	193,645.-
利子等	4,501.-	謝礼	13,250.-
第37回総会収入	2,442,000.-	地方交付	100,000.-
		第37回総会支出	2,439,626.-
		次年度繰越	4,326,525.-
計	7,410,181.-	計	7,410,181.-

以上のとおり報告します。

平成13年12月31日

会計幹事

柴山 進 印

水口 二平 印

監査の結果相違ありません。

平成13年12月31日

監事

熊谷 猛 印

栗原 廣 印

事務局だより

一、近況

調本案に起因した倫理規定の強化により、現役の皆様と信友会員(OB)との接触も気になる所

[名簿] 長

中野和男・安部洋男

[総務] 長

河内正臣
安藤正之・小島一三
村越和平・福井孝三
古嘉宣

[副会長]

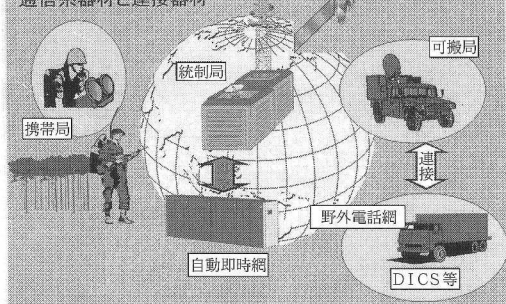
中村 曉・廣田英雄
水口 二平

[会長]

中村義弘
中村 曉・廣田英雄
水口 二平

TASCOM(X)の概要

通信系器材と連接器材



でしたが、「信友会」が認知された団体として従来の活動が出来ることになりました。この件に際して陸幕通電課には大変御苦労をおかけいたしました。

二、信友会役員の見直し
今年度も信友会の役員として、お骨折りをいただいた田上博氏、田中常光氏、佐々木秀雄氏、柴山進氏の四名が退任されました。

その御苦労に厚く感謝いたします。現在の役員は次のとおりです。

「機関紙」長 七田正道・小澤孝男
山根健次・古澤孝志
岩田哲彌・吉田史郎

「会計」長 岩田修・山本公志
「監事」長 熊谷猛・栗原廣
三、信友会総会・懇親会の開催
昨年度は会員百六十四名、現役百二十名の参加を得て盛大に開催することが出来ました。皆様のご協力ご支援有難うございました。

今年度は別途ご案内のとおり、平成十四年三月十六日(土)第一ホテル東京(新橋)において例年どおり開催いたします。多数の皆様のご参加をお待ちいたしております。

四、地区懇親会の実施
昨年度は、第一電子隊の二十周年に併せて初めて北海道十勝地区で実施し、地方会員の方々との親睦を図ることが出来ました。この際、現地会員の小野文義氏に大変ご尽力いただきました。

本年度の地区懇親会は、計画しております。五、名簿の発行
昨年度に続き本年度も名簿修正資料を送付いたしました。来年度は新名簿を作成いたします。修正変更等事務局まで御連絡下さい。六、UNDOF通信隊員への激励
ゴラン高原派遣隊等の通信要員として現地で活躍されている通信科隊員に対して、信友会より「金一封」をお贈りし、激励致しております。(昨年度一件)

編集後記
長らく編集を担当してこられた田中常光氏が退任され、吉田史郎氏が新たに加わりました。二十一世紀初年では、改革内閣の誕生、女子マラソンの快挙等で明るさが見えましたが、景気の低迷に比べて、未曾有のテロ事件があり、人の暗い面が顔を覗かせました。今回は、こんな気分を吹き飛ばすべく元気な高齢者の方や海外の貴重な体験を軸に、現役の要職の方にご寄稿いただきました。信友会では会員皆様の「ご寄稿」を歓迎しております。経験談でもよし、創作でもよし、国内外見て歩きでも結構です。ご寄稿された方は事務局へ御連絡下さい。紙数に限りがありますので、大勢の場合は調整させていただきます。